

雲南市汚水処理施設整備構想（案）のパブリックコメント（意見募集）の結果
及び意見・提案に対する市の考え方について

1. 意見募集の結果について

公表した資料 雲南市汚水処理施設整備構想（案）

意見募集期間 令和4年12月28日（水）から令和5年1月27日（金）まで

資料公表場所 市役所水道局下水道課、各総合センター自治振興課
雲南市ホームページ

意見提出者数 1人

意見数 16件（雲南市汚水処理施設整備構想（案）に関する意見）

2. 提出された意見・提案と市の考え方

No.	提出されたご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方
		<p>（ご意見に対する共通事項）</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本構想は、今後の汚水処理施設の整備・運営を実施する構想です。</p> <p>この度いただいたご意見により、構想に記載している内容の変更はいたしません が、貴重なご意見として参考にさせていただき、今後の個別の取り組みを進めてまいりたいと考えます。</p> <p>なお、ご意見に対する個別事項の考え方は以下のとおりです。</p>
1	<p>事業者においては競争原理を促し、コスト削減の観点から工事、更新を行う際一般競争入札 入札後資格確認型 事後審査式、総合評価式で行うのが望ましい。 競争を促しコストを抑えます。</p>	<p>極力、競争原理が働く入札方法を採用し、コスト削減に努めます。</p>

2	<p>国の予算をフルに有効的に活用し自治体の負担を可能な限り抑えます。</p> <p>国の補助、国庫負担金、交付金などを最大限に活かし、用い極力自治体の負担がかからないようにすべきである。国の財源を用いることで最大限の自治体の負担の軽減化</p> <p>過疎対策事業債ハード分 下水処理のための施設</p> <p>下水道事業債 社会資本整備総合交付金 防災・安全交付金 地域自主戦略交付金 民間活力の活用等</p> <p>コスト縮減の観点から民間委託 包括的民間委託 指定管理制度 PPP/PFI、DBO、コンセッションなども検討していくようにすべき。</p>	<p>社会資本整備総合交付金 防災・安全交付金 下水道事業債 過疎対策事業債等有利な財源を活用し、市の負担を極力少なくしています。また、民間委託も行っています。</p> <p>民間活力の活用等についても検討します。</p>
3	<p>雲南市上下水道部(局)の公式ホームページも随時都度更新をお願いします。</p>	<p>早めの更新に努めます。</p>
4	<p>下水道事業に関する審議会の開催状況や資料なども開示、公表公開していくべきである。決定過程のプロセスの可視化</p>	<p>現在、下水道についての審議会は設置されておきませんが、開催されれば積極的に開示します。</p>
5	<p>ポンプ場を含む包括的な処理場の共同監視や維持管理の共同化</p>	<p>共同化等に関しては、島根県汚水処理事業広域化・共同化計画において、検討が進められています。</p>
6	<p>雲南市脱炭素宣言(令和4年6月23日)</p> <p>脱炭素社会実現への貢献</p> <p>脱炭素社会の実現に向けて、省エネルギー技術や下水道資源・エネルギー利活用技術等、脱炭素に資する新技術</p> <p>省エネルギー性能等や下水道資源・エネルギー利活用技術の着実な導入を図る。</p> <p>処理場における下水汚泥の利活用や地域バイオマスの受入による創エネルギー、下水熱等の再生可能エネルギー利用の事業化に向け、広域化・共同化、施設の統廃合や改築更新等の機会を捉え、案件形成から施設整備までワンストップで積極的に行う。</p>	<p>費用対効果を分析し、導入の是非を検討します。</p>

7	<p>新技術の活用</p> <p>2030 年までの温室効果ガス排出量 46%削減の実現に貢献するため、更なる省エネルギー化や創エネルギーの効率向上等、また、2050 年カーボンニュートラル実現に貢献するため、革新的な脱炭素化技術の開発脱炭素技術の開発拠点化を図るなど、その活用を拡大し、下水道技術の発展を図る。持続的な下水道事業経営。</p>	<p>費用対効果を分析し、導入の是非を検討します。</p>
8	<p>雲南市版デジタル田園都市構想（地域 DX 推進）</p> <p>最先端 ICT 技術の開発・実用化・普及（DX の推進）</p> <p>デジタル技術の活用を含め、DX 推進により、下水道事業全体の生産性向上・高度化に貢献するほか、内外のコミュニケーションの強化を図る。</p> <p>具体的には、BIM/CIM の利用促進やデジタルデバイスを用いた遠隔臨場の普及拡大等による設計・施工の品質・サービス向上、下水道台帳システムの提供による</p> <p>処理場・ポンプ場施設情報の電子化促進や内部基幹システムを活用した外部へのサービス提供等、デジタル技術を活用した新たなイノベーションの創出を推進する。</p> <p>DX 推進による効果を最大限発揮します。</p>	<p>費用対効果を分析し、導入の是非を検討します。</p>
9	<p>地震対策</p> <p>耐震診断の実施、既存施設の地震対策補強工事等のハード対策</p> <p>下水道施設における被害の最小化を図るための行動計画の策定、下水道関係団体及び他市町との災害時支援体制の構築によるソフト対策</p>	<p>下水道 BCP は作成しております。また、下水道関係団体等との災害支援協定も締結しております。</p>

1 0	再構築 省エネ化 新技術、ICT 活用によるライフサイクルコストの削減 ストックマネジメント計画の策定	ストックマネジメント計画は策定しており、ライフサイクルコストの削減には取り組んでいます。
1 1	浸水対策 雨水ポンプ場、雨水貯留施設、幹線管渠の整備に加え、耐水化対策 内水浸水想定区域図の作成 流域治水協議会 雨水管理総合計画等の作成	雨水対策については、事業計画を策定した区域を実施しています。
1 2	維持管理 管路施設を含む下水道システム全体の質の高い維持管理、事業運営の実現に向けた体制強化 下水道台帳の電子化→データ蓄積（ベース）	下水道台帳については、電子化を行っています。
1 3	広域化・共同化 ポンプ場を含む包括的な処理場の共同監視や維持管理の共同化 ICT 活用による広域管理 維持管理の共同化 汚水・汚泥処理の共同化 下水道 BCP の共同化 インフラメンテナンス	現在、県で島根県汚水処理事業広域化・共同化計画が策定されるところです。雲南市も参画しており、広域化・共同化には取り組むこととなります。
1 4	PDCA サイクルの徹底	PCDA については、更に徹底します。
1 5	下水汚泥の問題	下水汚泥については、雲南広域連合が処理していますが、協力体制は構築していません。
1 6	地方創生汚水処理施設整備交付金	現在、活用していませんが、活用する可能性が生じたときには、検討します。